

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成27年10月16日(金)

研究課題	富士山登山の安全確保に関する研究	
研究期間	平成28年度～30年度	
	評価項目	平均点
	研究の背景	5.0
	研究目的の妥当性	4.5
	研究内容の合理性・新規性	4.0
	研究予算の妥当性	3.3
	目的達成の可能性	4.0
	期待される研究成果	4.3
	予備研究の状況	4.3
	総合評点	4.2
<p>富士山はユネスコの世界文化遺産に登録されて以降、内外の観光客・登山客が増加の一途をたどっており、富士山登山者の安全性の確保を目標とする本課題は、極めて重要な課題であり、社会的必要性の高い課題に位置づけられる。一方、昨年の御嶽山の噴火やそれに続く列島各火山の噴火は、我が国の火山の活性の高まりを示唆し、富士山が噴火する現実性が増してきており、登山者を噴火災害から守るためにも本課題は喫緊の課題と言えよう。以上から、本課題は山梨県が早急に取り組むべき課題として極めて適切な課題である。</p> <p>本研究を進めるにあたっては、緊急性の高い課題ゆえに、研究内容については実施しながら改良を求められる側面も出てくることも想定されるため、研究の進行に伴い単年度毎の明確な目標設定を実施する必要がある。また、噴火災害はその規模によって対策が大きく変わるので、災害の規模の想定を明確にして実施していく必要がある。</p>		